

政策推進課

バイオマスを身近に感じる一日
しょうばらバイオマスフォーラム2008

見て・聞いて・ふれてバイオマスを身近に感じてもらうため、市とSARUプロジェクト会議は11月15日、リサイクルプラザで「しょうばらバイオマスフォーラム」を開催しました。

ど、バイオマスに関するイベントに多くの人が集まりました。また午後からは、庄原市で長年研究を続けている県立広島大学の森永力教授が、「庄原市におけるバイオマス有効活用の可能性」と題して講演し、約120人が参加。地元にも豊富に存在するバイオマス資源の有効活用について、これまでの研究成果を交えて話しました。



森永教授の講演(上)、ペレットストーブなどの展示(下)

商工観光課

地元就職を支援し定住へ
庄原市合同企業説明会

本年度第2回目となる庄原市合同企業説明会を11月9日、東城支所で開催しました。この説明会は、市の「待つとるよ！庄原定住プロジェクト」の二環として、地元就職を希望する中途求職者や大学生、Uターン・Iターン希望者と、地元企業との出会いの場を設け、庄原市への定住を促進しようとするものです。この日は、製造業・社会福祉事業など、市内企業9社が参加。

会場では、学生から中高年までの参加者が、それぞれの企業ブースを訪ね、熱心に採用担当者の説明に耳を傾け、質疑応答が行われました。また、庄原市による定住相談コーナーも設け、幅広く定住に関する情報も提供しました。商工観光課では引き続き、定住相談などを受け付けています。お気軽にお問い合わせください。(☎0824-73-1178)



採用担当者がパソコンを使用して説明

生涯学習課

大学の知識・技術を市民へ
県立広島大学市民公開講座

県立広島大学市民公開講座を10月29日から11月25日、県立広島大学庄原キャンパスで開催し、5回の講演に延べ約200人が受講しました。

この公開講座は、大学の持つ専門的で高度な知識・技術が学べるよう、県立広島大学が開校した翌年の平成2年から始まり、今年で19年目になります。今回の講座では、「温故知新・

見つめなおす庄原の宝」をメインテーマに、5人の先生が「中山間地域の商品づくりと販路拡大」「食と農を考える」「限界集落と地域おこし」など、地域に密着した5つの話題でそれぞれ講演しました。来年度も引き続き、6月下旬からの前期と10月下旬からの後期の2期に分けて、実施する予定です。



武藤徳男教授の「食と農を考える」講座

支所 市民生活室

健診結果を生かそう

健康づくり講演会

健康づくり講演会を10月28日、口和老人福祉センターで開催し、約40人が参加しました。

これは、健康づくりと病気に ついて学ぼうと毎年実施しているもので、今回は庄原赤十字病院 第2内科部長の服部宜裕医師が、「健診結果が教えてくれるあ

なたの体の今とこれから」と題して講演しました。

服部医師は、「健診結果からどの部分に異常があるのか、また警告を発しているのかをよく把握することによって、日々の生活を見つめ直すきっかけになる」と説明。また、最近よく耳にするメタボリックシンドロームについても触れ、「健診結果の中からもメタボリックシンドロームの

予防や改善もできる」と話し、健診結果を今後の生活に生かすことの重要性を呼びかけました。



講演する服部医師

総務課

シンボルツリーを設置
新庁舎建設の進捗状況



クレーンでシンボルツリーを吊り上げる

新庁舎建設工事の進捗状況は10月末現在で約50%、5階までの床・外壁のコンクリート打設といった躯体工事が完了しました。

11月1日には、地域木材の振興やPRを兼ねた高さ約12m、幹周り約2.5mのシンボルツリーを庁舎内へ建て込みました。今後は、内装工事、外壁タイル工事、屋根工事等の仕上げ工事と平行して、電気・空調機械設備などの工事を行い、来年2月末の完成を目指します。

優良ハイブリッドバスを導入

備北交通が試乗説明会

市民生活課



滝口市長も試乗

このバスは、ハイブリッド仕様で、発進・加速時など大きな力が必要な際にモーターが作動して駆動力をアシストします。減速時などには、電動機を発電機として作用させ、減速エネルギーを電気エネルギーに変換してバッテリーに蓄えます。これにより、平成17年排出ガス規制の規制値に対し、窒素酸化物や粒子状物質などの排

出量が10%以上低減されます。さらに、乗降時に段差のないノンステップ仕様となっているほか、乗降口付近の音声案内や誰にでも見やすい運賃表示など、新しい機能が満載されています。地球にも利用者にもやさしいバスとして、市も補助金を交付し、バスの導入を支援しました。試乗会の参加者は「音も静かで乗り心地もいい」と話していました。11月18日から本格運行が開始され、主に庄原〜三次間を運行しています。

11月17日、備北交通(株)が中国地方で初めて導入した「優良ハイブリッド・ノンステップバス」の試乗説明会を庄原市街地で開催しました。

女性児童課

父親をもっと楽しむ秘訣を学ぶ

男性の家庭参画講座

男性に、家庭への関わりをもっと楽しんでもらおうと、「男性の家庭参画講座」を10月28日から12月7日、4回シリーズで行いました。

11月11日には、第2回の講座「子育てが楽しくなるコーチング」を庄原市保健センターで開催。講師の赤木淳子さんは子育て経験者ながら、「子どもの失敗に、つい『なんで?』って言いがちですが、返ってくるのはい訳ばかり。そんな時『どうしたらい?』と聞いてあげると、子

どもは自分で解決策を考え出します」などと、子どもの力を引き出すコミュニケーション術を指導しました。

参加者は、話の聴き方、相手への尋ね方などを実践し、「カットきても自分を抑えられる懐の深さを身につけたいと思った」などの感想が寄せられました。

また、講座の前に行ったミニクッキングでは、家族へのプレゼントとして、高野りんごを使った「フレスシュゼリー」と「アップルパイ」を作りました。



アップルパイを作る参加者